

米奥小だより

令和7年11月19日(水)

No.31

米奥小学校 校長 北添 忠

11月15日(土)に米奥小学校の収穫祭・山の学習が行われました。雲一つない秋晴れの中、保護者や地域の方々の協力のもと、子どもたちは元気に活動しました。

また、夏祭りが雨での開催となり、沈下橋での松明点燈ができなかったので、学校運営協議会の提案で、一斗俵沈下橋での松明点燈も行われました。その様子を写真を中心に紹介します。



○収穫祭

午前中は、カレー作りと竹筒ごはん作りに挑戦しました。

○山の学習

今年は学校のそばの源流大橋の東側にある学校林で活動しました。2～3年前にかけた巣箱の観察と新しく巣箱を設置することを中心に、その道中でシダ飛行機を飛ばしたり、ガンピと呼ばれる紙の原料の木



の説明を受け、タブレット PC で調べてみたり、弱った木の表面に生えているキノコの仲間をみんなで調べてみたり、山頂の木に名札を付けたり、雑木を伐って樹齢を調べてみたりと、山での活動をたくさん行いました。



〇たいまつ点燈

朝、保護者が一斗俵沈下橋に松明を設置し、夕方5時過ぎに火を点燈。それに合わせて児童は一斗俵沈下橋に行きました。少し風があり、火の粉が少し飛ぶ中、子どもたち

は松明の間を何度も歩いて、非日常を楽しんでいました。

実は、松明点燈まで時間があり、午後4時過ぎに小腹を満たすために保護者が作ったおにぎりと豚汁、焼き芋などをいただきました。

